

# しち てん はっ き 七 転 八 起

校訓：自主・協同・創造

学校通信 NO. 6  
令和5年 7月21日

## 夏休みに向けて！～日常の食事を考える～

夏休みが始まりますが、みなさんは1学期を振り返ってみてどうでしたか。4月に立てた目標は達成できましたか。学習面、生活面について振り返り、改善すべきところは改善して、また2学期には、新たな気持ちで、目標に向かって進んで欲しいと願っています。



先日19日の「食育の日」に、子ども食堂に関する記事を読みました。その中で、多くの人たちが子ども食堂を支えていることや大人と子どものコミュニケーションの場になっていることを知りました。そして、「食卓で育む創造力」の記事も興味深く読みました。家族が忙しくて、みんなで一緒に食卓を囲めないときでも、家族の席にお箸を並べておくことで、子どもに『家族の存在』を想像させ、創造力を育てているそうです。

毎日の食事は、私たちの生活を豊かにする上で重要な意味を持ちます。ところが忙しい毎日を送る中では、ともすると「食」そのものの大切さや有り難さを忘れてしまいがちになります。

夏休みは家族と食卓を囲む機会が増えると思います。夏休みだからこそ、私たちの日常の食事を見つめ直し、改めてその「有り難さ」を考えてはどうでしょう。有り難いという漢字は、「そうあることが難しい」「めったにないことである」という意味です。毎日の食事の背景を考えてみると、様々な「有り難いこと」が見えてきます。食事の用意をしてくれた人、生計を支えてくれている家族の努力、食材の生産や流通を担う人たち、水道や電気、ガスといったライフラインを支える人たち等、どれが1つ欠けてもこの食事が口に入らなかったと考えると、「食事は有り難いこと」だと思えます。だからこそ「いただきます」や「ごちそうさま」の言葉は、そうした様々な恩恵に感謝する言葉なのでしょう。これまで、コロナ禍の影響で「当たり前」の日常が当たり前でなかった経験をしてきました。食育についても「当たり前」の日常の中にある「有り難さ」に気づき、創造力を豊かにして欲しいと考えます。

「いただきます」や「ごちそうさま」など、どのような言葉も、その根本には私たちの「気持ち」が込められています。私たちの日常では、言葉や行動で具体的に「気持ち」を表現します。すべては目に見えない「気持ち」から生まれてきていますので、「気持ちの持ち方」に意識を向けていくことが大切です。日々、何を大切に、何を心がけ、どのような気持ちでいるのか。時代と共に移り変わっていく部分もあると思いますが、先輩たちが大切にしてきた「心の姿勢」は、自分や周囲の人たちにとって、安心と喜びのある日常の原動力となっていきます。

校長 高森 伸彦

## 東播地区中学校総合体育大会の結果

非常に暑い中での大会となりましたが、力の限りを尽くした東播大会でした。ソフトボール部は3位となった野々池中に0-2の惜敗でした。陸上競技部の八幡さん、藤本さんを含め10名、水泳の竹内さん、大上さん、男子ソフトテニス部の黒田さん、山本さん組が県大会に出場することになりました。さらなる活躍を期待しています。

### 陸上競技

女子総合6位 男女総合4位

1年生男子 1500m	4位	小倉 大駈	県大会
	5位	井上 杜竜	県大会
共通男子 400m	3位	八幡 響	県大会
	6位	山下 陽輝	県大会
共通男子 800m	5位	石井 颯亜	県大会
	8位	中尾 陽向	
共通男子 走高跳	8位	赤松 健太	
1年生女子 100m	3位	村尻 桜愛	県大会
1年生女子 800m	6位	山下 優月	県大会
3年生女子 100m	3位	藤本 有彩	県大会
共通女子 200m	4位	藤本 有彩	県大会
共通女子 1500m	4位	屋敷 乃梨子	県大会
共通女子 100mH	6位	藤田 凜乃	県大会
共通女子 走高跳	7位	赤松 穂香	
女子4×100mR	8位	赤松・藤本・藤田凜・藤田夏	

### 水泳

女子 100m平泳ぎ	2位		
女子 200m平泳ぎ	2位		
		大上 結	県大会
女子 100mバタフライ	2位		
女子 200mバタフライ	2位	竹内菜桜	県大会

### 男子ソフトテニス

個人

3回戦	黒田晴也・山本爽天	組	県大会
2回戦	栗城開人・黒田鳳太	組	
2回戦	溝端 練・藤原滉樹	組	

### ソフトボール

1回戦 vs 野々池中 0-2



## 「人権」について考える

6月16日(金)に人権作文発表会がありました。各学年の人権意見発表会で選ばれた代表の3年清瀬さん、2年和木くん、1年西岡さんが発表してくれました。

人権は、社会の中で生活するための基本です。多くの人たちが安心して生活するために人権は大切にされなければいけません。

3名の発表は、「自分を大切にし、人を大切にする」気持ちが込められた素晴らしい発表でした。

